

議会だより



クメジマボタルの乱舞（自然を大切に）



平成 17 年度会計別予算額	2
平成 16 年度会計別最終予算額	2
町長の専決処分事項の指定について	2
一般質問	3
議決の結果（一覧表）	12
公立久米島病院の常勤医師の	14
安定確保について	

17年度予算可決

3月定例会は3月10日～25日までの16日間の日程で行われました。
承認4件 議案32件 発議1件を審議しました。

平成17年度会計別予算額

会計別	平成17年度予算額	平成16年度予算額	比較
一般会計	69億4,771万8千円	69億2,277万7千円	2,494万1千円
国民健康保健特別会計	9億8,014万7千円	9億4,517万1千円	3,497万6千円
老人保健特別会計	11億3,918万9千円	12億427万2千円	△6,508万3千円
下水道事業特別会計	3億984万4千円	2億8,894万円	2,090万4千円
農業集落排水事業特別会計	328万円	333万5千円	△5万5千円
水道事業会計	3億3,180万2千円	3億4,014万5千円	△834万3千円
合計	97億1,198万円	97億464万円	734万円

平成16年度会計別最終予算額

会計別	平成16年度当初予算額	平成16年度中補正額	平成16年度最終予算額
一般会計	69億2,277万7千円	4億9,111万7千円	74億1,389万4千円
国民健康保健特別会計	9億4,517万1千円	5,819万1千円	10億336万2千円
老人保健特別会計	12億427万2千円	△4,312万7千円	11億6,114万5千円
下水道事業特別会計	2億8,894万円	△683万8千円	2億8,210万2千円
農業集落排水事業特別会計	333万5千円	0	333万5千円
水道事業会計	3億4,014万5千円	295万円	3億4,309万5千円
合計	97億464万円	5億229万3千円	102億693万3千円

町長の専決処分事項の指定について

久米島町議会の権限に属する事項中、次の事項は、地方自治法第180条第1項の規定により、町長の専決処分事項に指定する。

- 1 議会の議決を経て契約した工事請負契約について、契約金額の400万円以内の変更。
- 2 久米島町が加入している一部事務組合について、その一部事務組合を組織する他の市町村等の名称の変更及び加入市町村等の数の増減に伴う規約の変更。
- 3 法律上、町の義務に属する損害賠償で、その額が1件50万円以下のものに係る和解及び損害賠償の額の決定。

鋭い視点で！ 一般質問

本定例会での一般質問は、3月14、15日に12名が登壇しました。

儀間三二号線の整備、まだか

厳しい財政、整備は困難



上里 総功 議員

の整備は不可能である。現在の町の財政状況では起債事業での整備は厳しい状況にある。

山城企画財政課長 財源の問題は、平成一六年の三位一体改革とか、国の政策の流れで非常に厳しい状況になっている。いろんな事業の中から、選択しながら検討し進めていくしかない。

上里議員 儀間三二号線は、平成七年六月定例議会において質問をし、その時の答弁では「儀間川総合開発整備計画と関連づけて整備できないか検討していきたい」と述べている。また、平成一五年一二月定例議会では、「補助事業の採択基準を満たしていないため、起債事業等で検討したい」との答弁をしているが、未だ整備されていない。今後の計画を伺いたい。

上里議員 財源が厳しいから起債事業が入られないということでは、事業は進まない。財源を探してくるのは行政の仕事ではないか。

上里議員 財源が厳しいから起債事業が入られないということでは、事業は進まない。財源を探してくるのは行政の仕事ではないか。

高里町長 儀間三二号線については、儀間川総合開発事業で河川の改修は計画されてないので、関連づけて



儀間 32 号線

一般質問通告一覧表

上里総功議員

- 一、選挙公約について
- 二、農道整備について

宮里洋一議員

- 一、道路整備について

本永朝辰議員

- 一、アース(アオサ)虫の駆除について

真栄平勝政議員

- 一、高速船の運航について

仲村昌慧議員

- 一、プロ野球関連について
- 二、教員の人事について

内間久栄議員

- 一、各字集落道の未整備道路の整備計画について
- 二、一着島沖合いからの潮の環流計画について

幸地良雄議員

- 一、農業振興について(後継者育成)

選挙公約は果たされているか？

公約実現に全力で取り組んできた

上里議員 町長は、八大政
策を公約に掲げて当選して
以来、既に三年目を迎えて
いる。「活力」「潤い」「文
化創造」の町づくりを目指
した「町民が主体」「町民
が主人公」という久米島町
政の実現となっている。

選挙時の数々の公約につ
いて、どのような姿勢で取
り組み、具体的な対策がと
られたか、その進捗状況を
伺いたい。

高里町長 私が町政を担当
して三年目を迎えるが、こ
の間、町民をはじめ議員の
皆さんから多大なご支持、
ご支援を賜り感謝している。
就任以来、産業の振興、
福祉の増進、教育の向上、
文化の発展のため、公約実
現に誠心誠意全力で取り組
んできた。

町の発展と町民の福祉の
向上を念頭に、引き続き掲
げた公約の実現に努力して
いきたい。

道路拡張整備、どうなっている

用地買収ができ次第工事を開始



宮里洋一 議員

宮里議員 県道二四二号線
の字仲地から字具志川まで
の道路拡張整備は、一〇年
前から要請してきたもので、
昨年やっと測量され、本格
的に拡張整備が出来るもの
と期待していたが、未だに
動きが見えない。施工時期・
施工区間・施工方法につい
て伺いたい。

高里町長 県の方で平成一六

年度に確定測量を実施し、
筆界の確定作業を進めてい
るが、未相続等により現地
での立ち会いができず、作
業が困難な状況にあるとの
ことである。

県では平成一七年度も引き
続き筆界作業を進め、用地



県道 242 号線 字仲地～字具志川

買収ができ次第整備をして
いきたいとのことである。

神里建設課長 法改正によ
り、筆界の確定の場合、隣
接地主の同意が必要だが、
その同意がもらえず、進ん
でいない状況にある。県の

方も、用地買収ができ次第
工事をしたいということだ
ある。役場としても中に入っ
て、早めに整備出来るよう
に進めていきたいと考えて
いる。

平田勉議員
一、若年層の定住化につ
いて
二、住民参画について

平良朝幸議員
一、プロ野球キャンプにつ
いて
二、町の電算システムにつ
いて

翁長英夫議員
一、道路の整備について
二、自主財源の確保につ
いて
三、臨時職員の雇用につ
いて

仲原健議員
一、公立久米島病院の医師
の確保について
二、議決事項の順守を

上江洲盛元議員
一、講演内容を「即」行政
に生かすことについて
二、学校教育問題について
三、観光関連事業について
四、公的施設の活用につ
いて

アーサ虫の駆除を！

保健所等の指導を仰ぎ対処



本永朝辰 議員

本永議員 字大原の南側の海浜一帯には、毎年二月頃からアーサ（アオサ）虫が発生し、付近住民に被害を及ぼしている。

町当局としてその虫の生態等を調査し、対策を講じてもらいたい。町長の見解を伺いたい。

高里町長 ご質問の衛生害虫は、糠蚊類で、通称アーサ虫と呼ばれているが、今のところ有効な駆除方法はないということである。

対策としては、住民への注意や、刺された時の対処法などを広報等で周知していきたいと考えている。

山城保健衛生課長 この

アーサ虫については、成虫は海岸の満潮線から約四、五メートルほど離れた砂地に発生し、三月から一月までの長期に出現するが、特に三月から四月に集中しているようである。朝夕主に活動し、日中はいないようである。刺された時の対策としては、ヨウドチンキ等を塗布すると治りが早いようである。

駆除方法としては、広範囲にわたって生息しているため、生態系に影響を及ぼすということで、簡単には実施できないような状況である。これも中央保健所並びに衛生環境研究所の指導を仰ぎながら、今後、対処していきたいと思っている。

高速船の運航再開は？

運航の可能性を調査し検討する



真栄平 勝政 議員

真栄平議員 ブルースカイの代船を誘致し、運航を再開させることで、町民の交通手段の確保と負担軽減、観光客増にもつながると思うが、早期実現する考えはないか。

高里町長 既存航路権のある船会社に高速船の再導入計画があるのか、他の船舶会社による新規参入の可能性があるのか、また、町から要請すれば実現の可能性はあるのか等々も含めて、調査を行い検討していきたい。

教員の半数が臨時教員！

必要やむを得ない場合が多い



仲村 昌慧 議員

仲村議員 平成一五年の六月議会で、中学校の英語教師が臨時教員として配置されていることを取り上げたが、教育長は「できるだけ本務教員配置が望ましい状況から、次年度は本務配置を強く要請したい」と述べていた。しかし、平成一六年度の具志川中学校の人事についてみると、教員の半数が臨時教員として配置されている状況である。この状況をどう受け止めているのか、教育長の見解を伺いたい。

喜久里教育長 本県においては、育児休暇の補充教諭や研究指定校への加配教諭については、臨時的任用教員で対応している。臨時的任用教員が多く配置されたことは、指導の一貫性や継続性、教育的効果等から課題があると考えているが、必要やむを得ない場合が多々ある。しかしながら二方年継続して英語教諭に欠員を生じた事は大変申し訳なく思っている。

プロ野球キャンプ、今後の課題は？

知名度アップをベースに活性化を図る

仲村議員 プロ野球キャンプ

プ期間中は、連日テレビ、

ラジオ、新聞等で久米島が

全国で紹介され、知名度が

一気に伸びたことは喜ばし

いことである。そこで、キャ

ンプ関連について次のこと

を伺いたい。

①キャンプを振り返って

の感想と今後の課題。

②球団側の評価と来年の

キャンプの見直し。

③新野球場の進捗状況と

完成予定。

高里町長 ①久米島の知名

度が上がり、経済波及効果

は計り知れないものがある

と思われる。今後、知名度

が上った事をベースに、

どのように各種産業に結び

つけ「町の活性化」を図る

ことができるかが、大きな

課題である。

②受け入れ態勢、施設内

容及び気象条件等を含め、

総じて満足できるキャンプ

であったとのことである。

次年度のキャンプについて

は、今後、球団側に強力に

お願いしていきたい。

③平成一六年度の工事は

グラウンド内の整備、外周工

事を発注している。本格的

に使用できるのは平成一九

年の二月のキャンプを目的

としている。



楽天イーグルスの紅白戦を観戦する町民

里道整備計画は？

厳しい財政、時期を見計らって整備検討



内間 久栄 議員

内間議員 旧具志川村では

農村総合モデル事業で、農

道の近代化を図ると共に、

農村の生活環境を、昭和五

年から平成七年にかけて

二四億円余の予算を投じて

整備した。また、同様の事

業は、旧仲里村においても

実施している。しかし、そ

の際に同事業で行うことの

できなかつた集落内の里道、

これらは今後どのように町

は整備を行う考えか。

高里町長 未整備な集落道

については、できるならば

新しい事業の導入等により

整備をしたいが、現在の財

政状況では大変厳しい。今

後、財政状況を見ながら時

期を見計らって整備を行っ

ていきたい。

内間議員 集落道は、地域

は勿論、町民が利用する道

路で、命と財産を守る道路

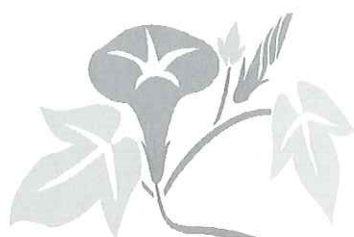
であり、地域文化を育む生

活道路でもある。財政が厳

しいのはわかるが、未整備

地域の早急な環境整備を望

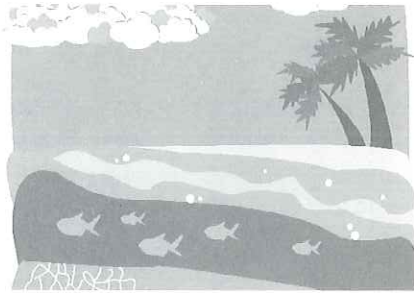
む。



一着島沖の環流整備を

財政、専門家の意見を踏まえて検討

内閣議員 一着島沖合の潮の環流計画について、町長は平成一六年三月定例会で、「水産事業等をするためには、漁業権設定、県と久米島漁業組合と協議が必要、今後検討していきたい」との答弁をしているが、このことについて関係機関と協議を行ったのか。協議を行ってない場合、今後どのように地域の漁業振興を考えているか。



内閣議員 地域海域は、大雨、雨期、台風等の際、赤土が流出し、海域が非常に汚れ、漁業ができないと漁民は嘆いている。漁民の所得向上、生活安定を図る上から、一着島沖合の環流整備を要望する。

農業後継者対策は？

農業法人の育成、支援強化を図る



幸地良雄 議員

幸地議員 本町の基幹産業は農業であり、農業の振興なくして本町の発展はあり得ない。しかし、今、本町の農業は極めて不振であり、憂慮すべき状況にある。その農業振興を阻む要因は数多くあるが、その内の後継者対策について質問する。

幸地議員 ②後継者の問題は、農業従事者の私的な問題であるが、しかし後継者を確保するためには、行政として対策を取るべきではないか。

高里町長 平成一二年度の農業センサス資料の数値では、全体農家数が九七二戸で、内専業農家が四三三戸、兼業農家が五四九戸となつて

高里町長 平成一二年度の農業センサス資料の数値では、全体農家数が九七二戸で、内専業農家が四三三戸、兼業農家が五四九戸となつて

高里町長 提言のとおり、後継者問題は深刻な問題として受けとめている。離農農家の対応については、農業委員会と連携し、農業法人の育成、支援等を強化し、農地の集積を図っていく。

幸地議員 ③農業に一生懸命取り組んでいる者で、適齢を過ぎた独身者が多い。結婚はまさしく個人の問題であるが、放っておくわけにはいかない。行政として打つ手はないのか。

高里町長 結婚問題については、全国的に、独身主義晩婚傾向にあり、本町においても独身者が多い。結婚は、結婚したい人に出会うか否かにあり、町としても深刻な問題として認識している。

若者の定住対策は？

雇用の場を確保するため、積極的に取り組む



平田 勉 議員

平田議員 本町では、若年層の定住化が最大の課題であるが、具体的対策を講ずる考えはないか。

高里町長 若者の定住は、島に魅力があつて、働く場があることが条件だと思う。町として、海洋深層水関連企業の誘致や観光関連産業、久米島産産業の振興を図るとともに、農業分野では、畜産、野菜、花卉などの振興を図り、雇用の場が確保できるよう、積極的に推進していきたい。

住民参加のシステムとは？

計画段階から各会議等に参加し、意見を反映

平田議員 町長が施政方針で提起をしている政策過程で、「町民が積極的に参加するシステム」とはどういうシステムなのか、具体的な説明を求めらる。

高里町長 少ない財源で、町民のニーズに的確に応えていくために、例えば事業の導入計画の段階から、住民を交えた検討委員会、地域懇談会、町民意見提案制

度等を設け、これまで以上に町民の意見を反映させるためのシステムである。

プロ野球キャンプ、来年もあるか？

総評はよし！指摘箇所は改善



平良 朝幸 議員

平良議員 今年一月三十一日から二月一四日まで、東北楽天ゴールデンイーグルス球団のキャンプ受け入れを実施したが、初めてのキャンプにもかかわらず、町をはじめ、協力会やその他ボランティア、町民の協力により予想以上の成果を収めたと思う。合併後、久米島の町民が目標に向かって心が一つになった事は特筆すべき事項であり、また、キャンプ中、各メディアのキャンプ地情報や、さまざまなジャンルの情報で、久米島が全国的に知れ渡り、その効果は計り知れないものだと思う。

来年も一次キャンプは久米島で実施してくれるものと期待しているが、それについて球団側からどう伝えられているのか伺いたい。また、来年のキャンプ受け入れのために町が計画している行事や整備事業等があれば、その内容を伺いたい。

高里町長 東北楽天ゴールデンイーグルスが久米島にキャンプインしてから、キャンプ中の対応、キャンプ打上げ、報道関係者への対応等々、特に大きなトラブルもなく無事終了できたことに対して、球団関係者は非常に喜んでおり、総評としては決して悪いものではないかと思う。しかし、一部の意見として、一軍、二軍同時キャンプになると、施設の不足、不備等、また、仙台からの交通アクセスや用具等の運搬コストが割高になる等の意見があつた。

来年度のキャンプ受け入れのための計画として、指摘があつた施設の改修、ホームゲームでの応援ツアー計画等がある。

電算システムの一本化を!

一八年度稼働を目標に一本化の予定



久米島町の電算システム

をいつ実施する予定なのか。また、それに向けて具体的にどう取り組んでいくのか伺いたい。

高里町長 電算システムの一本化については、オフコン機器が一六年度末にリース満了となることに伴い、一六年度中での導入検討を進めてきたが、併用運用しているPCシステムのリース期間が二年残っていることから、経費面や耐用年数を勘案し導入を見送ってきた。

平良議員 町の電算システムについて、PCとオフコンのシステムが混在している中で、職員からも非常に非効率的で不便だと聞いている。平成一六年三月議会的一般質問では「厳しい財政状況により平成一六年度導入を見送り、機器の耐用

年数、予算面を勘案しながら導入時期を検討する」という答弁であった。オフコン操作のための専従職員、全く使用されていない端末、互換性のないデータなど非常に問題が多い。早急に改善すべきだと思うが、町は今後電算システムの本化

PCシステム機器については、一七年度末でリース期間が満了し経費も軽減されるため、一七年度中にシステムを選定し、財源の確保が可能となれば、一八年度稼働を目標にシステムを一本化する予定である。

崩れた土手の修復は?

補助事業では困難、今後検討



翁長英夫 議員

②宇江城三号線 五号線 しているが、今後の整備に四号線へ抜ける道路は旧村当時に村道に認定されたと思うが、まだ整備されていない。その理由も併せて伺いたい。

②未だ整備されていない理由として、まずは町道に認定されていない。また、財政的に町単費での整備が困難である。今後、町道として認定するか、或いは農道としての整備が出来るか、今後調査して検討していきたい。

翁長議員 ①宇江城東堂原と中堂原、通称アシザーという原名だが、その境界の下側が染色の洗い場所となっていて、人や車が頻繁に行き来している。そこから四〇メートル先が四号線との交差点で

高里町長 ①道路の整備については、県営宇江城一般農道が整備されており、受益面積がそちらにカウントされており補助事業での整備は困難。悪い個所については農道補修等により対処

あり、その手前の土手が崩れ、側溝だけが残り、大雨が降る場合には、下の畑に被害が出る恐れがある。町として整備する考えはないか。



側溝が宙に浮いている農道

臨時職員の雇用方法は？

公募、臨時雇用申込制

翁長議員 行政改革の中でも定数条例や臨時雇用について議論してきたが、本町においてかなりの臨時職員が働いている。どのような方法で採用しているのか、基準があつたら示していただきたい。また、今後も継続するのか、賃金職員、嘱託職員も含めて、町長の見解を伺いたい。

高里町長 臨時職員の採用については、旧両村からの継続雇用、公募、臨時雇用申込み登録者採用等の方法をとっている。賃金職員については、できるだけ削減を図っていく。施設管理などどうしても必要なところの継続雇用はあるが、その場合「雇用期間の通算期間三六月を越えてはならない」という規程があるので、それに該当する職員は原則として継続雇用はしていない。どうしても必要な場合は、公募等により採用していきたい。

議決事項の遵守を

予算の関係で未執行



仲原 健 議員

高里町長 平成一五年一二月の議会において「二部アスファルト舗装で対応する」と答弁したが、予算の関係で未執行となっており、お詫びしたい。要請もあり、現在、応急処置としてのアスファルト殻を利用し補修しており、以前よりはだいぶ良くなっていると思うが、今後はそういうことのないように気をつけていきたい。

仲原議員 平成一五年の二月議会で宇江城四号線と宇江城一五号線の交差点から下る急勾配の砂利道の補修について提案した。それに対し、町長から「一部アスファルト補修をに対応する」と答弁があつた。しかし、再三の要望にも関わらず実施されていない。町長の見解を伺いたい。



アスファルト殻により応急補修された道路

久米島病院の医師確保を

県立病院からローテーション対応も

決まっていない。特に透析担当医が転出することで、一七名の透析患者がたいへん心配し、不安がつている。町長のこれまでの対応、そして今後の医療行政、町民の健康福祉対策について伺いたい。

高里町長 県立病院の医師の絶対数が不足し、今年度以上に厳しいことから、今のところ医師の派遣が未定となっている。県としては派遣できない場合、県立病院等からローテーションで対応したいとのことである。

透析治療については、患者に不安を与えないよう対応したい。

医師確保については非常に責任を感じ、副管理者として医師の配置ができないことをたいへん申し訳なく思っている。

今後の健康福祉対策については、平成一七年度より、福祉課と健康保健衛生課、そして住民課の国保事業と年金事業が一つの課としてスタートするので、なお一層の健康福祉事業が進められると考えている。

講演を「即」行政に活かせるか

講演内容を参考に、問題意識を持ち、行革に反映



上江洲 盛元 議員

上江洲議員 伊賀の里モクモクファームの「地域おこし、産業おこし」、三重県の前知事北川正恭氏の「生活者起点の行政改革」という二つの講演が、近時、町民を対象に行われた。この講演は、「即」地域、行政に取り入れなければならない内容だったと思う。これについて、町長、各課長は、それぞれにどんな感想をもっているか。そして、久米島町発展のためにどんな抱負を描いたか。北川先生の出版された本、「生活者起点の『行政改革』」も参考にお答え願いたい。

高里町長 モクモク手づくりファーム地域おこし講演については、「地域づくり十カ条」というのが参考になった。今後の取り組みについては、講演に参加した一人一人が問題意識を持ち、企画力を展開することが成果につながると思う。北川先生の講演では、「地方は自らのことは、自らの責任でもって運営しなければならぬ」「情報を公開し、住民に受益と負担の関係をすべて明らかにして、納税者である住民に対する説明責任を十分に果たした上で、町民と協働の町作りを進めていく必要がある。」という二点である。これから、行政改革を進めていく上で反映させていきたい。

教職員評価制度の理解度は？

学校間に格差はあるが、予定どおり実施

上江洲議員 ①本県は、教職員の序列化に繋がりがかねない教職員評価制度が二〇〇六年から実施されようとしている。これについて教育現場でどれだけ学習ができていいのか伺いたい。

②近年、教育現場があまりにも忙しく、教師は子供の為の読書も十分できていないという。これは重大な問題である。これをどう克服しなければならぬか。教育長の考えを伺いたい。

喜久里教育長 ①各学校において、教職員評価システムについて周知を図るべく、職員会議や教職員研修等で学習を進め、予定通りの実施を目指している。学校間に格差はあるが、周知が図られているものと理解し、予定どおり取り組んでいきたい。

②教職員は、職務上、読

書等の時間はかなり制約される。しかしながら、平常の土・日の休業日や長期休業期間に集中して読書時間が確保できるものと考えている。

町教育委員会としては、今後とも教職員研修を充実させ、その中で優良図書の紹介等を行い、教員の読書を奨励していきたい。



議会傍聴のお知らせ

次回の定例議会は、6月20日から予定しています。多数の皆様の傍聴をお待ちしております。併せて、町政へ訴えたいこと、疑問に思うこと等々、ご意見、ご感想等もお寄せください。

久米島町議会事務局 (098) 985-7128

議 決 の 結 果

議案番号	件 名	議決年月日	議決の結果
承認第1号	専決処分の承認について（平成16年度久米島町一般会計補正予算（第6号））	平成17年3月10日	原案承認
承認第2号	専決処分の承認について（土地の取得）	平成17年3月10日	原案承認
承認第3号	専決処分の承認について（議決内容の一部変更（仲里漁港漁船保全修理施設建築工事））	平成17年3月10日	原案承認
承認第4号	専決処分の承認について（久米島町税条例の一部を改正する条例）	平成17年3月10日	原案承認
議案第1号	沖縄県市町村自治会館管理組合を組織する市町村の数の減少について	平成17年3月15日	原案可決
議案第2号	沖縄県介護保険広域連合規約の変更について	平成17年3月10日	原案可決
議案第3号	平成16年度久米島町一般会計補正予算（第7号）について	平成17年3月10日	原案可決
議案第4号	平成16年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	平成17年3月10日	原案可決
議案第5号	平成16年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）について	平成17年3月10日	原案可決
議案第6号	平成16年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第4号）について	平成17年3月10日	原案可決
議案第7号	平成17年度久米島町一般会計予算について	平成17年3月25日	原案可決
議案第8号	平成17年度久米島町国民健康保険特別会計予算について	平成17年3月25日	原案可決
議案第9号	平成17年度久米島町老人保健特別会計予算について	平成17年3月25日	原案可決
議案第10号	平成17年度久米島町下水道事業特別会計予算について	平成17年3月25日	原案可決
議案第11号	平成17年度久米島町農業集落排水事業特別会計予算について	平成17年3月25日	原案可決
議案第12号	沖縄県町村土地開発公社定款の一部改正について議会の議決を求める件	平成17年3月10日	原案可決
議案第13号	久米島町農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部を改正する条例について	平成17年3月25日	原案可決
議案第14号	久米島町職員定数条例の一部を改正する条例について	平成17年3月25日	原案可決

議案第 15 号	久米島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	平成 17 年 3 月 25 日	原案可決
議案第 16 号	久米島町総合運動公園野球場整備工事請負契約について	平成 17 年 3 月 10 日	原案可決
議案第 17 号	久米島町総合運動公園野球場外周工事請負契約について	平成 17 年 3 月 10 日	原案可決
議案第 18 号	議決内容の一部変更について（兼城農村総合施設建築工事請負契約）	平成 17 年 3 月 10 日	原案可決
議案第 19 号	議決内容の一部変更について（情報連絡施設建設工事請負契約）	平成 17 年 3 月 10 日	原案可決
議案第 20 号	久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	平成 17 年 3 月 15 日	原案可決
議案第 21 号	久米島町漁船保全修理施設条例の一部を改正する条例について	平成 17 年 3 月 15 日	原案可決
議案第 22 号	沖縄県介護保険広域連合の財産処分に関する協議について	平成 17 年 3 月 15 日	原案可決
議案第 23 号	平成 17 年度久米島町水道事業会計予算について	平成 17 年 3 月 15 日	原案可決
議案第 24 号	沖縄県市町村総合事務組合格約の変更について	平成 17 年 3 月 15 日	原案可決
議案第 25 号	沖縄県町村交通災害共済組合格約の変更について	平成 17 年 3 月 15 日	原案可決
議案第 26 号	久米島町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	平成 17 年 3 月 25 日	原案可決
議案第 27 号	久米島町特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	平成 17 年 3 月 25 日	原案可決
議案第 28 号	久米島町教育委員会の委員長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	平成 17 年 3 月 25 日	原案可決
議案第 29 号	久米島町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	平成 17 年 3 月 25 日	原案可決
議案第 30 号	辺地に係る総合整備計画の一部変更について	平成 17 年 3 月 25 日	原案可決
議案第 31 号	沖縄県介護保険広域連合からの脱退及び当広域連合格約の変更について議決内容の一部変更について	平成 17 年 3 月 15 日	原案可決
議案第 32 号	沖縄県町村交通災害共済組合格約の変更についての議決内容の一部変更について	平成 17 年 3 月 25 日	原案可決
発議第 2 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による議会の委任による専決処分事項の指定について	平成 17 年 3 月 25 日	原案採択

公立久米島病院の常勤医師の安定確保について

公立久米島病院は、久米島における唯一の医療施設として、平成12年開設以来5年目を迎えております。その間、久米島町においては、ヘリコプターによる沖縄本島への救急患者の搬送件数は、開設前の100件から、開設後は50件へ半減するなど、住民が安心して生活できる基盤が確立し、また、島に病院があるということで修学旅行が大幅に増え、観光客の増加にも繋がっております。

更に、平成17年2月、久米島町ではプロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」の第1次キャンプが実施され、それを支える医療施設としての充実強化が求められております。

公立久米島病院は、設立当初から「派遣職員の取り扱いに関する協定書」に基づき、医師5名、看護師17名、診療放射線技師1名、臨床検査技師2名、薬剤師1名の医療従事者は沖縄県から派遣されてまいりました。

しかしながら、平成16年度は、産婦人科の医師の不在、人事異動に伴う常勤の医師の配置が定数に満たないため、県立病院からの内科と外科のローテーションによる応援等により業務を行ってまいりました。

常勤医師の派遣に比べて、応援医師では、不安定的要素があり、当直等の救急医療や入院治療への対応が不十分となるほか、オンコールの頻度が増加し、医師、看護師等の過重労働を余儀なくされているのが現状であり、医療従事者や事務職員の負担も大きいことから、常勤医師の安定確保が最重要課題となっております。

このようなことから、医師等の臨時的任用枠を拡大し、県立病院、琉大病院等と連携し、公立久米島病院の医師確保等の充実に向けてまいりましたが、県立病院からの医師のローテーションによる公立久米島病院への応援は、別団体であるので大変厳しく、今後、公立久米島病院の存続そのものが危ぶまれている状況であることから、下記事項実現に向け要請書を提出するものであります。

記

1. 離島医療を充実する為には、医師の安定的な確保が最も重要であることから、今後も沖縄県からの公立久米島病院への常勤医師の安定確保について特段のご配慮を賜りたい。
2. 平成17年度の常勤医師5名について、早急に確保し派遣賜りたい。

平成17年3月8日

沖縄県久米島町議会

沖縄県議会議長 外間 盛善 殿